

# 平成 30 年度入試の主な変更点

長崎大学

## 【全学部共通】

1. 編入学試験を除く全ての学部入試において、インターネット出願を導入する。

## 【多文化社会学部】

1. 一般入試（前期日程）第 1 段階選抜基準の追加

従来の基準の他に、以下の①と②の両方を満たした場合にも第 1 段階選抜の合格者とする。

- ①大学入試センター試験の外国語の得点率が 75%以上

※①にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験（本試験）平均点（中間集計その 2）における英語の平均点（筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を 200 点満点に換算）が、115 点を下回る場合は、①の得点率（英語に限る。）を見直すことがある。

- ②多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた 3 教科 3 科目又は 3 教科 4 科目の得点を、多文化社会学部が定める前期日程の配点比率に換算した合計点 100 点満点中 75 点以上（75%以上の得点率）

※得点率の見直しは「英語」のみの措置であり、その他の科目は平均点が低い場合であっても見直さない。

参考）一般入試（前期日程）のセンター試験配点等

	国語	地歴/公民	数学/理科	外国語	合計
センター試験の配点	50	25	25	200	300
新たに追加する基準	100 点満点中 75 点以上（75%以上）			150 点以上（75%以上）	—

2. 一般入試（後期日程）第 1 段階選抜基準の追加

従来の基準の他に、以下の①と②の両方を満たした場合にも第 1 段階選抜の合格者とする。

- ①大学入試センター試験の外国語の得点率が 80%以上

※①にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験（本試験）平均点（中間集計その 2）における英語の平均点（筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を 200 点満点に換算）が、115 点を下回る場合は、①の得点率（英語に限る。）を見直すことがある。

- ②多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた 2 教科 2 科目の得点を、多文化社会学部が定める後期日程の配点比率に換算した合計点 100 点満点中 80 点以上（80%以上の得点率）

※得点率の見直しは「英語」のみの措置であり、その他の科目は平均点が低い場合であっても見直さない。

参考）一般入試（後期日程）のセンター試験配点等

	国語	地歴/公民	外国語	合計
センター試験の配点	50	50	200	300
新たに追加する基準	100 点満点中 80 点以上（80%以上）		160 点以上（80%以上）	—

3. 一般入試（前・後期日程）及び A O 入試で利用可能な外国語検定試験を次のとおり廃止及び追加する。

廃 止：TOEFL PBT 500 点以上のスコア（A O 入試は継続）

追 加：TEAP（4 技能）334 点以上のスコア

4. 一般入試（前期日程）学外試験場の変更

東京試験場を廃止し、大阪試験場を新たに設定する。

5. A O 入試 I 第 2 次選考の配点比率を次のとおり変更

筆記試験：100 点 → 100 点（変更なし）

面 接：100 点 → 50 点

## 【教育学部】

1. 一般入試（前期日程）中学校教育コース音楽専攻の個別学力検査等に「面接」を加え、「外国語，実技検査（音楽），面接」による選抜に変更する。
2. 外国人留学生入試の中学校教育コース社会専攻の個別学力検査等を，「国語，外国語（英語），面接」から「国語，面接」による選抜に変更する。
3. 外国人留学生入試の中学校教育コース技術専攻の個別学力検査等に「数学，理科，外国語（英語）」を加え，「数学，理科，外国語（英語），面接」による選抜に変更する。（数学，理科は1科目を選択）
4. 一般入試（前期日程），推薦入試Ⅰ及び外国人留学生入試の中学校教育コース美術専攻「実技検査」を次のとおり変更する。

（旧）

内容	課題（石膏像）
木炭デッサン	「モリエール」

（新）

内容	課題（幾何形立体・石こう製等）
鉛筆デッサン	静物

5. 一般入試（前・後期日程）の合否判定基準に，次の項目を追加する。
  - ・大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点が50%未満の者は不合格とする。

## 【経済学部】

1. A O入試B：グローバル枠において，出願要件を次のとおり変更する。  
出願要件：「入学後は国際ビジネス（plus）プログラムへの参加を希望する者で，」を  
「本学部の国際ビジネス（plus）プログラムに強い関心があり，」に変更

## 【医学部医学科】

1. 推薦入試D：一般研究医枠，推薦入試E：熱帯医学研究医枠及び推薦入試F：国際保健医療枠（募集人員各5人）を統合し，「推薦入試D：グローバルヘルス研究医枠」（募集人員10人）に変更する。  
なお，従来の選抜方法に加え英語による面接を実施する。また，合否判定基準で不合格となる場合について，従来の「大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として80%に満たない場合」に，「あるいは大学入試センター試験外国語科目の得点率が，原則として85%に満たない場合」を追加する。
2. 一般入試（前期日程）の出願書類に「志願調書」を追加する。様式等の詳細は本学HP参照。

## 【歯学部】

1. 一般入試（前期日程）の個別学力検査等に「面接」を加え，「数学，理科，外国語，面接」による選抜に変更する。（数学，理科，外国語は1科目を選択）配点等については下記のとおり。  
<採点評価基準>面接は個人面接を行い，アドミッションポリシーに基づき，志望動機，意欲，目的意識，コミュニケーション能力及び協調性等を総合的に判断する。点数化せず，段階評価する。  
<合否判定基準>現在の合否判定基準（1）に次の一文を追加。  
「ただし，面接の評価が著しく低い場合には，大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。」

## 【環境科学部】

1. 推薦入試②：普通科等以外の選抜方法等について，次のとおり変更する。
  - 1) 大学入試センター試験受験科目  
「英語を含む3科目以上を受験すること。ただし，基礎を付した理科科目を含む場合は，英語と基礎を付した理科2科目を含む4科目以上を受験すること。」から  
「2科目以上を受験すること。ただし，基礎を付した理科科目を含む場合は，基礎を付した理科2科目を含む3科目以上を受験すること。」に変更
  - 2) 大学入試センター試験の成績の採用科目  
「受験した全科目の中で合計点が最も高くなるように3科目（基礎を付した理科科目を含む場合4科目）の成績を採用する。」から  
「受験した全科目の中で合計点が最も高くなるように2科目（基礎を付した理科科目を含む場合3科目）の成績を採用する。」に変更
  - 3) 配点  
「センター試験 300点，面接 100点，調査書 100点，志望理由書 100点，合計 600点」から  
「センター試験 200点，面接 100点，調査書 100点，合計 400点」に変更
  - 4) 合否判定基準  
「(2)大学入試センター試験，調査書，志望理由書及び面接の総合計の得点率が60%未満の者は不合格とする。」から  
「(2)大学入試センター試験，調査書及び面接の総合計の得点率が原則として60%未満の者は不合格とする。」に変更